
吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業

審 査 講 評

令和4年8月

吉野川市

吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業 審査講評

目 次

1. 事業概要	1
(1) 事業名	1
(2) 事業場所	1
(3) 事業期間	1
2. 審査方法等	1
(1) 受託候補者選定の方法	1
(2) 受託候補者選定までの経過	1
(3) 吉野川市新ごみ処理施設整備等検討委員会の設置	1
(4) 検討委員会の開催経過	2
3. 受託候補者選定結果	3
(1) 資格審査	3
(2) 基礎審査	3
(3) 非価格要素審査	3
(4) 価格審査	6
(5) 総合得点の算定	6
(6) 受託候補者の選定	6
4. 総評	7

1. 事業概要

(1) 事業名

吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業

(2) 事業場所

徳島県吉野川市鴨島町山路字廣谷

(3) 事業期間

事業期間 : 事業契約締結日から令和 23 年 3 月 31 日まで
設計・施工期間 : 事業契約締結日から令和 7 年 7 月 31 日まで
運営期間 : 令和 7 年 8 月 1 日から令和 23 年 3 月 31 日まで
(運営期間終了後、3 年間は大規模修繕工事が不要な状態で引渡しすること。)

2. 審査方法等

(1) 受託候補者選定の方法

受託候補者の選定方法は、総合評価一般競争入札方式として選定を行った。

(2) 受託候補者選定までの経過

受託候補者選定までの経過は表 1 のとおりである。

表 1 受託候補者選定の経過

日 程	内 容
令和 4 年 2 月 22 日 (火)	入札公告 入札説明書等 (入札説明書、要求水準書、落札者決定基準、様式集、基本契約書 (案)、建設工事請負契約書 (案) 及び運営業務委託契約書 (案)) の公表
令和 4 年 2 月 22 日 (火) ～ 3 月 8 日 (火)	入札説明書等に関する質問受付 (第 1 回)
令和 4 年 3 月 29 日 (火)	入札説明書等に関する質問回答 (第 1 回) の公表
令和 4 年 4 月 5 日 (火)	参加表明書及び資格審査申請書類の受付期限
令和 4 年 4 月 12 日 (火)	参加資格確認結果の通知
令和 4 年 4 月 13 日 (水) ～ 4 月 20 日 (水)	対面的対話確認事項及び入札説明書等に関する質問 (第 2 回) の受付
令和 4 年 5 月 10 日 (火)	対面的対話の実施
令和 4 年 5 月 25 日 (水)	対面的対話議事録及び入札説明書等に関する質問回答 (第 2 回) の公表
令和 4 年 6 月 17 日 (金)	入札提案書類の提出期限

(3) 吉野川市新ごみ処理施設整備等検討委員会の設置

吉野川市新ごみ処理施設整備・運営事業 (以下、「本事業」という。) の事業者選定に当たり、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、「吉野川市新ごみ処理施設整備等検討委員会」 (以下、「検討委員会」という。) を設置した。

検討委員会の構成は表 2 のとおりである。

表 2 検討委員会の構成

委員長	岡田 芳宏	吉野川市 副市長
委員	山上 達也	吉野川市 政策監 (R3. 4. 1～)
	露口 悦之	吉野川市 政策監 (R2. 11. 1～R3. 3. 31)
委員	阿部 直司	吉野川市 防災局長 (R4. 4. 1～)
	吉田 正喜	吉野川市 防災局長 (R2. 11. 1～R4. 3. 31)
委員	中山 泰治	吉野川市 市民部長 (R4. 4. 1～)
	鳩成 正至	吉野川市 市民部長 (R2. 11. 1～R4. 3. 31)
委員	香西 卓生	吉野川市 産業経済部長 (R4. 4. 1～)
	吉尾 俊二	吉野川市 産業経済部長 (R3. 4. 1～R4. 3. 31)
	吉永 正雄	吉野川市 産業経済部長 (R2. 11. 1～R3. 3. 31)
委員	井上 勲	吉野川市 建設部長 (R3. 4. 1～)
	藤原 弘文	吉野川市 建設部長 (R2. 11. 1～R3. 3. 31)
委員	岡田 茂	吉野川市 水道部長 (R4. 4. 1～)
	中山 泰治	吉野川市 水道部長 (R3. 4. 1～R4. 3. 31)
	吉尾 俊二	吉野川市 水道部長 (R2. 11. 1～R3. 3. 31)
外部有識者	川本 克也	(独) 環境再生保全機構 環境研究総合推進費プログラムオフィサー、岡山大学名誉教授
外部有識者	文谷 政憲	徳島文理大学 理工学部 ナノ物質工学科 博士 (工学)
外部有識者	阿部 清一	杵築技術士事務所 独立行政法人 国立環境研究所 客員研究員 技術士 (衛生工学部門)

(4) 検討委員会の開催経過

本事業における検討委員会の開催経過は、表 3 のとおりである。

表 3 検討委員会の開催経過

日 付	内 容
令和 2 年 11 月 16 日 (月)	第 1 回検討委員会 1) 事業手法の抽出 (1 次選定) について 2) 新ごみ処理施設整備に係るアンケート調査について
令和 3 年 3 月 2 日 (火)	第 2 回検討委員会 1) 事業手法の選定について
令和 3 年 3 月 22 日 (月)	第 3 回検討委員会 1) DBO 方式と DB+0 方式の比較及び選定について 2) 運営期間について
令和 3 年 7 月 2 日 (金)	第 4 回検討委員会 1) DBO 方式の概要 2) 事業者選定方式 (発注方式) に係る検討
令和 3 年 8 月 18 日 (水)	第 5 回検討委員会 1) 事業者選定方式 (発注方式) に係る検討
令和 3 年 10 月 28 日 (木)	第 6 回検討委員会 1) 実施方針 (案) の決定

日 付	内 容
令和 3 年 12 月 20 日 (月)	第 7 回検討委員会 1) 特定事業の選定 (案) の決定 2) 入札説明書 (案) の決定 3) 落札者決定基準 (案) の決定
令和 4 年 2 月 14 日 (月)	第 8 回検討委員会 1) 要求水準書 (案) の決定 2) 落札者決定基準 (案) の決定
令和 4 年 7 月 15 日 (金)	第 9 回検討委員会 1) 基礎審査の結果報告 2) 提案審査 (意見交換、ヒアリング確認事項の確認)
令和 4 年 7 月 27 日 (水)	第 10 回検討委員会 1) プレゼンテーション及びヒアリング 2) 入札書の開札 3) 受託候補者 (落札者) の選定

3. 受託候補者選定結果

(1) 資格審査

市は、令和 4 年 2 月 22 日 (火) に入札公告を行い、令和 4 年 4 月 5 日 (火) までに参加表明書及び参加資格確認申請書等を受け付けたところ、次の 1 グループから申請があった。

市は、当該グループが参加資格要件を満たしているか確認するための資格審査を実施、当該グループの参加資格を確認し、令和 4 年 4 月 12 日 (火) に代表企業に対し、参加資格を有することを書面にて通知した。

表 4 参加表明書及び参加資格確認申請書等提出グループ

参加者グループ名	川崎技研グループ (受付グループ名：カワセミグループ)
代表企業	株式会社 川崎技研
構成員	西松建設株式会社 四国支店

(2) 基礎審査

令和 4 年 6 月 17 日 (金) に参加資格を有する 1 グループから提案書類が提出された。

市は、基礎審査項目に沿って提出された提案書類の審査を行った。

これにより、当該グループが基礎審査に合格しているものと認められた。

第 9 回審査委員会で、市から基礎審査の経過及び結果の報告を受け、当該グループが基礎審査に合格していることを確認した。

(3) 非価格要素審査

ア 非価格要素審査

令和 4 年 7 月 15 日 (金)、令和 4 年 7 月 27 日 (水) に検討委員会は、表 5 に示す 5 段階評価を用いて、各委員の得点を平均化 (小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位までとする。) し、各審査項目の得点を合計して、非価格要素点を算定した。その審査項目と結果については表 6 のとおりである。

表5 5段階評価による得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	大変優れている	配点×1.00
B	優れている	配点×0.75
C	やや優れている	配点×0.50
D	標準的である	配点×0.25
E	やや劣っている	配点×0.00

表6 非価格要素点審査結果

審査項目	配点	カワセミグループ
1 地域環境を保全し、周辺環境に十分配慮した施設	8	4.06
①公害防止基準(要監視基準値等)と遵守計画	4	2.11
②環境保全対策・環境負荷低減	3	1.42
③景観への配慮	1	0.53
2 ごみを安心、安全、安定的に処理できる施設	14	8.73
①組織体制・人員配置計画	3	2.00
②施設性能とその維持	3	1.83
③機器配置、作業動線計画	4	2.67
④事故発生防止対策及び事故発生時の対応、搬入不適物混入防止対策	3	1.67
⑤経営計画・事業収支計画	1	0.56
3 経済性に優れ、費用負担を軽減する施設	14	7.90
①エネルギーの有効活用	3	1.42
②施設の長寿命化を見据えた設備・機器の維持管理計画	3	1.75
③施設運営費の削減・最終処分量の削減	5	3.06
④工程管理計画、工期遵守のための対策	3	1.67
4 地域住民に信頼され、災害に強い施設	10	5.28
①施設の強靱化・地域防災拠点	5	2.64
②災害廃棄物の受入及び処理	5	2.64
5 学習環境の場として、市民への啓発に役立つ施設	2	1.12
①見学者対応・環境学習計画	1	0.56
②災害廃棄物の受入及び処理	1	0.56
6 地域貢献	12	6.99
①施工に係る地元発注	4	2.22
②運営に係る地元発注	4	2.33
③地元雇用への配慮	4	2.44
非価格要素審査価点	60.0	34.08

イ 非価格要素審査に関する講評

非価格要素審査の各審査項目についての講評は、表7のとおりである。

表7 非価格要素審査に関する講評

審査項目		講評
1 地域環境を保全し、周辺環境に十分配慮した施設		
① 公害防止基準（要監視基準値等）と遵守計画	② 環境保全対策・環境負荷低減 ③ 景観への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止基準及び遵守計画について、具体的かつ有効な提案がなされており、環境に配慮した施設が提案されている点を評価した。
② 環境保全対策・環境負荷低減		
③ 景観への配慮		
2 ごみを安心、安全、安定的に処理できる施設		
① 組織体制・人員配置計画	② 施設性能とその維持 ③ 機器配置、作業動線計画 ④ 事故発生防止対策及び事故発生時の対応、搬入不適物混入防止対策 ⑤ 経営計画・事業収支計画	<ul style="list-style-type: none"> AI ごみクレーン全自動システムの導入等による機能的・効率的な運転管理体制構築を評価した。 本社によるリモート監視について、災害時・非常時にも活用できる点を高く評価した。 組織体制及び人員配置計画、教育計画について適正な提案がなされていた。 安全衛生に関する教育に関し、定期的に委員会を開催するなど、具体的な計画の提案を評価した。 敷地内の収集車と一般車両の動線分離、施設配置計画等に関し、安全に配慮した提案を評価した。 施設内における機器配置及び作業動線計画、可搬式バリケードの導入による安全性の確保に係る提案を評価した。
② 施設性能とその維持		
③ 機器配置、作業動線計画		
④ 事故発生防止対策及び事故発生時の対応、搬入不適物混入防止対策		
⑤ 経営計画・事業収支計画		
3 経済性に優れ、費用負担を軽減する施設		
① エネルギーの有効活用	② 施設の長寿命化を見据えた設備・機器の維持管理計画 ③ 施設運営費の削減・最終処分量の削減 ④ 工程管理計画、工期遵守のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 施設長寿命化への配慮に加え、事業終了時の後継事業者への業務引継ぎに関して施設引渡し委員会を設置し、円滑な事業継承が提案されている点を評価した。
② 施設の長寿命化を見据えた設備・機器の維持管理計画		
③ 施設運営費の削減・最終処分量の削減		
④ 工程管理計画、工期遵守のための対策		
4 地域住民に信頼され、災害に強い施設		
① 施設の強靱化・地域防災拠点	② 災害廃棄物の受入及び処理	<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物の受入や処理に対する取り組みについて、緊急時のごみピットの受入貯留量の増加等の施設設計の工夫、災害発生時等のバックアップとしても対応可能なリモート監視導入の提案を高く評価した。
② 災害廃棄物の受入及び処理		
5 学習環境の場として、市民への啓発に役立つ施設		
① 見学者対応・環境学習計画	② 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 見学ルート設定の工夫や、住民交流と環境学習に資するプログラム・イベントの提案を評価した。
② 情報発信		
6 地域貢献		
① 施工に係る地元発注	② 運営に係る地元発注 ③ 地元雇用への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献、地元企業の活用、資材調達への協力、運転員雇用等について、具体的かつ有効な提案されている点を評価した。
② 運営に係る地元発注		
③ 地元雇用への配慮		

(4) 価格審査

提出された入札価格が、入札書比較価格の範囲内であり失格基準価格を下回っていないことを確認したのち、入札価格について、表8に示す得点算定式により得点化を行った結果は、表9のとおりである。

表8 価格評価点の算定式

価格評価点の算定式	
当該入札者の 価格評価点	$= \text{配点[40点]} \times \left(\frac{\text{最低入札価格算定値}}{\text{当該入札参加者の入札価格算定値}} \right)^2$
$\text{※入札価格算定値} = \text{建設費} \times 75\% + \text{運営維持管理費} \times 100\%$	

表9 提案価格に関する得点結果

受付グループ名	参加者グループ名	配点	提案価格(税抜)	価格審査点
カワセミグループ	川崎技研グループ	40点	9,130,000,000円	40.00点

(5) 総合得点の算定

「非価格要素審査点」に「提案価格に関する得点」を加算して、表10のとおり総合得点を算出した。

表10 総合得点の算出結果

受付グループ名	参加者グループ名	非価格要素 審査点(A)	価格 審査点(B)	総合得点 (A)+(B)
カワセミグループ	川崎技研グループ	34.08点	40.00点	74.08点

(6) 受託候補者の選定

検討委員会は、これらの結果に基づき川崎技研グループ(受付グループ名:カワセミグループ)を受託候補者として選定した。

4. 総評

本事業は、民間事業者の経営能力及び技術能力を活用することにより、一般廃棄物処理施設である新ごみ処理施設の効率的かつ効果的な設計・施工及び運営・維持管理を行い、将来にわたり安全で安心したごみの適正処理、循環型社会を構築するため行うものである。

施設を整備するにあたり、「吉野川市新ごみ処理施設整備基本構想・計画」を指針とし、方向性、役割、機能や施設のあり方に関して十分に審議し、安心、安全、安定的なごみ処理施設であること、また、地域の皆様に理解を得られるよう配慮した施設の実現を目指している。

検討委員会は、本事業の背景を踏まえ、「総合評価一般競争入札」により受託候補者を選定するにあたって、地域や行政のニーズへの適合性を重視する一方で、透明性、公平性に配慮し、事業者選定を適正に実施した。

今回、1 グループからの応募であったが、参画企業の豊富な実績や知見が活かされ、要求水準を上回る提案内容が示された。

特に、審査項目のうち、「地域住民に信頼され、災害に強い施設」に関して、災害廃棄物の受入れ対策や最新技術の導入により安定した運転処理を提案していた点や、「地域貢献」に関し、地域の活性化や地元企業と協同で運営体制の構築に努めるなど経済波及効果だけでなく、継続的な地域貢献などについて高く評価した。

なお、検討委員会の審議において、こうした事項を評価する一方で、川崎技研グループの提案内容に対して、各委員から次のとおり意見が挙げられた。市及び受託候補者は、本事業が市政の重要な役割を担うものであることを認識し、本事業をより良いものとするために、必要となる対応に努めることを求める。

- ① 要求水準書及び技術提案書類の内容と吉野川市の意向を踏まえ、安心、安全、安定的なごみ処理施設とすることとし、誠意をもって確実に本事業の実施に努めること。
- ② 脱炭素社会形成、環境負荷低減への関心の高まりを踏まえ、本施設の整備等にあたっては、市と協議を行い、自然エネルギー等の一層の活用等に努めること。
- ③ 市が別に実施する造成工事との条件を整理したうえで、施工計画を立案し、工期を遵守するとともに、安全に配慮した施工を努めること。
- ④ 環境負荷の低減を目指して適切な運転管理と維持管理に努めるとともに、排ガス等に対する公害対策に万全を期すこと。
- ⑤ 提案された市内企業への発注金額等の達成に努めるとともに、さらなる市内企業の活用等により、地域への貢献の拡大に努めること。

川崎技研グループにおいては、提案内容が多岐にわたり、技術提案書の作成の過程で多大な労力を要したことが推察される。そうした中、限られた期間内に提案をまとめた応募者の熱意及び姿勢に敬意を表するとともに、審査の過程における誠意を持った対応に感謝する。

最後に、川崎技研グループには、これから長期にわたる事業期間を通じて市と良好な関係を築きながら市民目線に立って、本事業に携わるとともに、「吉野川市新ごみ処理施設整備基本構想・計画」の趣旨を継承し、地域との信頼関係を築きながら、安心、安全、安定的な事業運営に誠意をもって取り組むことを期待する。

吉野川市新ごみ処理施設整備等検討委員会
委員長 岡田 芳宏